

北極渡り鳥イニシアティブ優先種コクガン・カリガネの保全に向けた共同調査と普及啓発

活動地域  北海道、宮城県



捕獲して発信器を装着したカリガネ

課題

コクガン、カリガネは東アジア地域で優先して保全すべき渡り鳥に指定されているにもかかわらず、渡りルートが解明されておらず、直面している脅威について知見が不足している。

目標

コクガン、カリガネを発信器により追跡することで両種の渡りルート及び重要な生息地を解明し、東アジアの重要生息地での保全に向けた国際的な連携体制を構築する。



今後の
展望

2020～2021年度の追跡調査により、コクガン、カリガネの渡りルートや生息地に関する新たな知見を得ることができた。今後は関連機関と連携し、現地調査を企画するとともに、その結果を国内外で発信する。

活動内容と成果

本年度は、北海道でコクガン9羽、宮城県でカリガネ4羽を捕獲し、発信器追跡を行った。また、2020年度のコクガン、カリガネの追跡結果から渡りルートに関する新たな知見が得られ、これまで知られていなかった、新たな中継地（ロシア）、越冬地（中国）を特定した。

2021年7月には第9回東アジア生態学連合会議で成果を発表したほか、これまでの取組みや上記の発信器追跡で得られた知見を盛り込んだ、絵本「雁の道をたずねて」を制作し、1,000部印刷した。絵本は2022年度の普及啓発イベントで活用予定である。



今年度制作した普及啓発用絵本

つづける助成

2年目

調査研究

発信器追跡個体

13羽

普及啓発用絵本

1,000部

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

70%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中国への視察ができなかったこと。

■工夫した点

昨年の捕獲調査経験をもとに、国内にわずか300羽程度しかいないカリガネを4羽同時に捕獲できた。

〒989-6315

宮城県大崎市三本木新沼字二又 159-1

電話：090-7494-2847

E-mail：saway1217@yahoo.co.jp

HP：http://shibalabo.eco.coocan.jp/goose/index.htm

